

2020-21 年度 第 3 回中部会長・主査会記録

開催日時：2021年4月17日（土）16:00～17:30 ZOOM会議

参加者：

会 長：金沢クラブ山内会長、名古屋クラブ平野
 会長、東海クラブ山村会長代行、南山クラブ杉山
 会長代行、グランパスクラブ坂口会長、津クラブ
 亀野会長、とやまクラブ清水会長

主 査：河部EMC主査、近藤交流主査、山村地
 域奉仕主査、清水Yサ主査、數澤メネット主査

中 部：早川部長、荒川書記、服部会計、高田事
 務局長



早川中部部長挨拶

一昨日部長訪問で金沢クラブを訪問した。後は津クラブ、とやまクラブを残すだけであるが新型コロナ第4波でどうなるかわからない状況である。本日は第3回中部評議会で提案した第2号協議、第3号協議についてクラブでまとめられたご意見を伺う会とした。第3回西日本区役員会について概要を説明し議事録を待つとした。

1. 議 事

第3回中部評議会提案の第2号・第3号協議について各クラブ会長より報告を受けた。

(1) 金沢クラブ：

3月例会で話し合った。第2号協議について、年間3000円の支出について了解を得た。集め方は今後考える。第3号協議について異存はない。理事輩出は経費がかかることは十分理解している。

(2) 名古屋クラブ：

第2号協議はクラブとして賛成する。前回理事輩出したことで経費負担は十分理解できる。金額については評議会決定に従う。第3号協議については次期中部を受けるので予算建て上早く情報が欲しい。中部全体でバックアップする考えで支出に関する違和感は全くない。

(3) 東海クラブ：

第2号協議はクラブの総意で支援に賛成する。一人の反対もない。支出については例会中止が続いて資金的余裕がある。第3号協議も異論はない。

(4) 南山クラブ：

第2号協議について理事輩出への支援は当然と考え異論はない。金額は年3000円程度と考える。第3号協議は評議会の決定に従う。異論はない。今後のクラブ存続についてクラブ内での議論はあるが、クラブが存続する限りこの支援金は中部に属するクラブとして責任を果たしていこうとの考えである。

(5) 名古屋グランパスクラブ

クラブとして結論が出ていない。西日本区理事輩出でなぜお金が必要になるのかという一部疑問が出た。今後の会員減少で今と同じような内容で良いのか。現在のコロナ禍で西日本区はリモート会議が主流となり経費負担が減少したのではないかと。今後は今までのようにお金を使ってはいけないという一部の意見があった。従って第2号協議について今日は保留とさせていただく。第3号協議には異論はない。

(6) 津クラブ :

今期で津クラブは閉じる計画であり意見を言う立場ではないが、両協議ともみんな協力しあう流れではないかと思う。

(7) とやまクラブ

第3号協議は異論はない。第2号協議は基本賛成であるが年3000円が妥当であるか判らない。用途は明確であるが、途中で不足になるとか、余るとか、ないようにしていただきたい。

2. 自由討議

- ・ 中部部長 : 第3号協議はほぼ全クラブの賛同が得られたと思う。第2号協議は保留のクラブがある。中部全体のお金に関する事なので、全クラブが賛同で執行したい。保留クラブはもう少し議論され結論を出していただきたい。
今期西日本区定款にリモート会議を追加する予定がある。少しずつ変化の兆しがある。理事の考えも少しずつではあるがスリム化へ移行しつつある。
- ・ 服部会計 : 今の西日本区はもう少しスリム化できるのではないかと、そこで理事経費も軽減できるのではないかと。このままでは行き詰まりが起きるとの意見がグランパスクラブであった。若いメンバーを増やすためにも経費負担を軽減するための方法を考えて中部から西日本区に提案したい。
- ・ 高田事務局長 : 西日本区各部はそれぞれ規模が違うので同じ条件で事を進めるのは難しいと思う。今回の第2号協議保留クラブの疑問については、良い機会であるので話し合って今後につなげたい。高齢化でメンバーが減少する事を前提に話し合う必要がある。
- ・ 理事選出方法についての質問に合わせて、理事選出輪番制での中部から理事選出の必要性、理事選出前の理事等基金の必要性等について議論した。
- ・ 理事等基金は理事が決まってからでは徴収できないので事前徴収が望ましい。
- ・ クラブの総意の意味としては、反対意見もあるが、大多数が同意見ということではないだろうか。
- ・ 部を代表して理事になるのであれば支援するのは当然と考える。特に理事をサポートする書記・会計。事務局長。事務局員への支援は必要と思う。これまでクラブではこの点について意見が良く出された。
- ・ 西日本区の動きはクラブ内で話題になる。今期新型コロナ禍の影響で会費が半期免除されたことで、これで出来るのであれば会費を下げられるのではないかと。今期出来たのであれば元に戻すことはない。
- ・ 理事の輪番制はそれを受けられなくなった時、ワイズメンの責務としてどう対応するのか考える必要がある。理事等基金は保険として考えれば良い。
- ・ 新会員を入会に誘おうとした場合、会費等お金のことで理解されるかが気になる。特

に若いメンバーの場合はお金のことが目立つと会員になりにくいのではないかと考えてしまう。

3. 理事等基金の集め方について（予測）

- ・金沢クラブ：クラブ会費とは別に徴収する。（半期毎？）
- ・名古屋クラブ：クラブ会費を予算化して支払うか別に徴収するかは話し合いによる。
- ・東海クラブ：クラブ積立金の中より支払う
- ・南山クラブ：クラブ会費を予算化して支払う。別途徴収はしない。
- ・グランパスクラブ：クラブ会費を予算化して支払う。
- ・とやまクラブ：クラブ会費を予算化して支払う。

4. 質問・連絡事項等

- ・この基金の総額は集計金額で決まるが、不足した場合は追加があるのか。（平野会長）
（中部）：基金の範囲内での支援と考えるので追加は考えていない。
- ・中部選出西日本区理事等支援金内規（案）「5. 拠出金額」で「半年報メンバー数」とあるが担当主事は含むのか。（杉山会長代行）
（中部）：現時点では詳細は決まっていない。
- ・4月8日付アジア太平洋地区会長からの過去3年間のYMCAへの支援金についてのアンケートの意図が知りたい。金額だけの明示は疑問がある。（杉山会長代行）
（中部）：西日本区に問い合わせる。
- ・会長だけでなく一般メンバーで交流を兼ねて意見交換会を開催してほしい。（山村会長代行）
（中部）：フォーラム形式で考えてみたい。前向きに取り組みます。
- ・中部各主査は活動報告書を提出してください。（中部部長より）

4. 会の締めについて

- ・中部部長：今回みなさんからのご意見は非常に参考となった。より良い基金が出来るように前に進め次期に繋げたいと思う。第2号協議、第3号協議は今日の協議内容を踏まえ、第4回中部評議会までに中部役員会で議案上程するか否かについて検討する。会員一人一人が支払うお金に関する議案は、中部全クラブが賛同することが前提と考える。今回保留であったクラブはこの1か月で詰めていただきたい。

5. 第4回中部評議会開催について

2021-2022年度 第1回評議会と同日開催（1部2部）としZOOMで開催。日時は早急に決定する。案内は別途配信する。

以 上